

# 舞鶴港前島地区複合一貫輸送ターミナル（改良）事業

## 事業評価に係るバックデータ

事業名	舞鶴港前島地区複合一貫輸送ターミナル(改良)事業
-----	--------------------------

1. 事業概要

※税込

構成施設	岸壁(水深9m)(改良)、航路・泊地(水深9m)、泊地(水深9m)	
事業期間	平成19年度～平成28年度	
事業費	43億円	

2. 費用

※税抜

	単純合計	基準年における現在価値(C)
建設費	45.6億円	66.2億円
管理運営費等	1.1億円	0.6億円
合計	46.7億円	66.8億円

3. 便 益

	単年度便益	基準年における現在価値(B)
①フェリー貨物の輸送コスト削減効果	7.7億円/年	197.9億円
②残存価値	3.0億円	0.5億円
合計	—	198.4億円

4. 結 果

費用便益比(B/C)	3.0
純現在価値(B-C)	132億円
経済的内部収益率(EIRR)	10.2%

5. 費用便益分析の条件

計算期間	平成19年度 ～ 令和48年 度	社会的割引率	4%	評価基準年度	令和3年度
------	------------------------	--------	----	--------	-------

事業名	舞鶴港前島地区複合一貫輸送ターミナル(改良)事業
-----	--------------------------

### ■建設費内訳

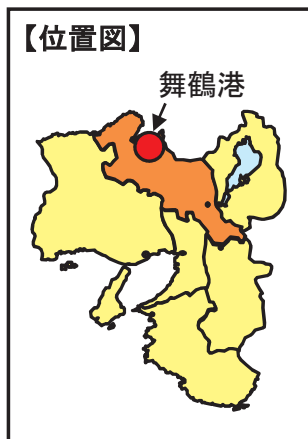
項目	単位	数量	金額(億円)	備考
工事費				
岸壁(水深9m)(改良)	式	1	9.5	
本體工 他一式	m	286	9.5	
泊地(水深9m)	式	1	31.9	
浚渫工	ha	20.0	31.9	
航路・泊地(水深9m)	式	1	1.4	
浚渫工	ha	1.3	1.4	
合計			42.8	税込

### ■管理運営費等

項目	単位	数量	金額(億円)	備考
管理運営費等	式	1	1.1	税込、12百万円/5年

※港湾管理者へのヒアリングにより算出している。

### ■概要図



## ■便益計算の考え方(舞鶴港前島地区複合一貫輸送ターミナル(改良)事業)

### ①フェリー貨物の輸送コスト削減効果

Without (整備なし)	喫水調整のため当日便で輸送できず、翌日便に振り替え(24時間後)
With (整備あり)	舞鶴港前島地区複合一貫輸送ターミナルを利用(当日に輸送)

### ○便益計算

#### 【フェリー貨物】

項目	With	Without	備考
----	------	---------	----

#### 移出入

①年間対象台数(台/年)	3,558		港湾統計及び船社ヒアリングによる需要推計を基に設定
②トレーラー1台あたりの積載量(トン/台)	145		マニュアル 表Ⅲ-1-14より設定(フェリー)
③便益対象貨物量(千トン/年)	516		①×②÷1,000
④滞留時間(時間)	0	24	翌日便(次便)利用のため24時間の滞留が発生
⑤時間費用原単位(円/トン・時)	24~78	24~78	マニュアル 表Ⅲ-1-19より品目別に設定(フェリー)
⑥輸送コスト(時間費用)(百万円/年)	0.0	755.7	③×④×⑤
輸送コスト削減額(億円/年)	7.6		(without時(⑥)－with時(⑥))÷100